

みんなでやらいや！ ～まちづくり活動報告 (第7回)～

“交流の場づくり”について一緒に考えよう！

～地域の支え愛・交流の場づくり研究会～

この研究会は、「大山町未来づくり交流会」(広報6月号2, 3ページ参照)での意見交換をきっかけとし、地域住民が気軽に集える交流の場づくりの実践に向け、共に学び、交流を深めようと、6月25日(月)に開催しました。



今なぜ、交流の場づくりなの？

近年、地域でのご近所づきあいが希薄化し、防災や高齢者の健康、福祉、子育てなどに及ぼす影響が懸念されています。それに対し、世代を問わず集える、「交流の場づくり」への関心が高まっています。

この「交流の場づくり」は「気軽に集まれる」をキーワードに、住民の手作りで、できるところから進めようという取り組みです。将来的には、福祉、防災、人材育成、地域の食材活用などの分野へ広がっていく可能性を秘めています。

どんな動きがあるの？

研究会では交流の場づくりの検討を進めている地域・団体が集まり、計画が発表されました。活用施設や集いの「仕掛け」にそれぞれ特色があります。個性的な交流の場が生まれるかもしれません。

ただいま
「交流の場づくり」計画中

まちづくり高麗地区会議

高麗保育所跡地を活用し、子どもから高齢者までが集い交流できる場、子どもの遊び場、子育ての悩みを語れる場といった地区住民の「サロン」や、地区の防災拠点とするため災害「備蓄」などが検討されています。

大山地区

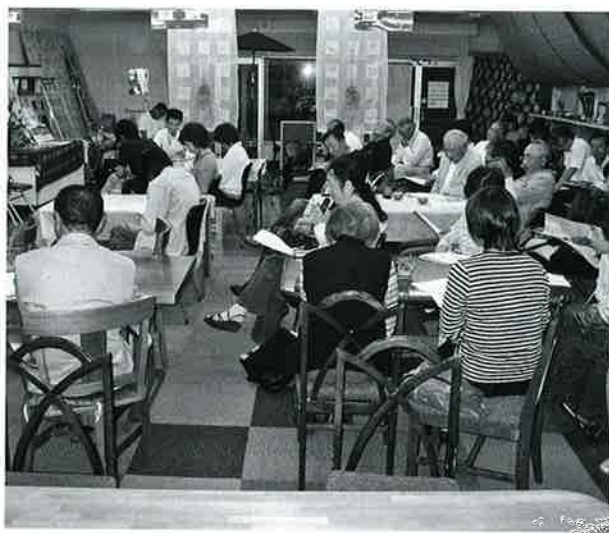
坊領集落内の空き店舗を利用し、秋に英会話教室の開設が計画されています。塾に子どもが集まるのを機に、子どもと高齢者が囲碁や将棋をし、遊びや技の伝承を行うなど幅広い世代間交流の場をつくり、次世代の人材育成と交流による地域活性化が検討されています。

種原自治会

集落の公民館を利用し、女性会が中心となつて、幅広い世代間交流の場が検討されており、飲み物の提供、モーニング、昼食などを有償で提供することや、そば打ち、男の料理教室といったイベントが企画されています。

大山綿の花(NPO申請予定)

旧小学校跡地を活用し、子どもから高齢者まで気軽に集まれる場所と交流カフェの運営が計画されています。



▲“弥生の風”を会場にして、研究会が行われました

県からも応援

この研究会のゲストとして参加された県庁長寿社会課課長・日野力(つとむ)さんから「防災拠点を絡め、あらゆる世代を対象とした居場所づくりは、県内でほとんど例がなく、大山町の取り組みを注目している。鳥取県の交流の場づくりの先進地となつてほしい。県も積極的に支援したい」と話されました。

ぜひ皆さんの地域でも！

高齢化が進んでいく中で、この「交流の場づくり」は地域の活力を維持する重要なテーマであり、既存の民家、空き家などを活用し、手軽に取り組めます。県や町でも支援制度を用意していますので、ぜひ、お住まいの集落、地域でも取り組みを進めてみませんか。